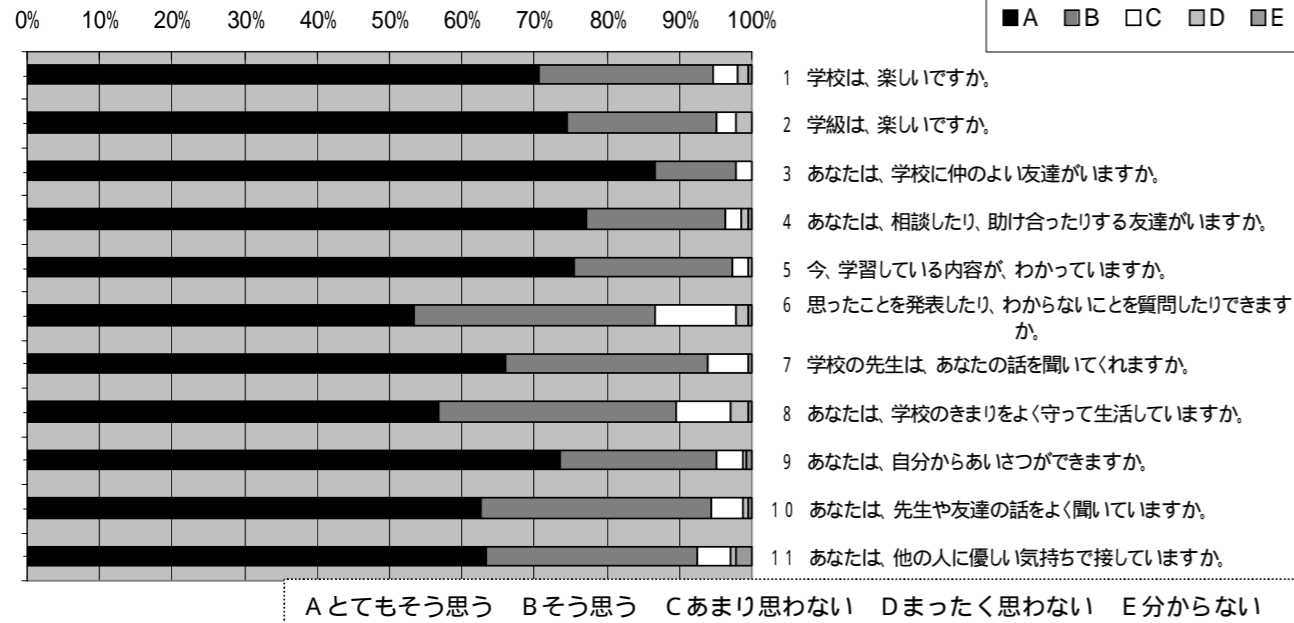


# 学校評価結果のお知らせ(児童・保護者)

2学期末には、保護者の皆様には学校評価のご協力をいただきありがとうございました。児童と保護者の評価結果をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、教職員一同、今後より一層努力したいと思います。  
平成22年1月18日(月) お茶の水小学校長 小林 勇司

## 学校関係者評価結果(児童 2学期)



### 【児童結果考察】(12月中旬 質問紙によるアンケート調査)

**全体** 1学期の調査結果に比べて、全体的にA B評価が増えました。2学期は、運動会や学芸会など大きな行事を通して、協力の大切さを学んだり自分の責任を果たしたりして、充実した日々が過ごせたことが功を奏したと考えます。結果から、「学校や学級が楽しく、友達関係も良く、しっかりあいさつする」というのがお茶の水小学校の子ども像といえます。しかし、マイナス評価をしていた子にも目を向け、「通うのが楽しい」と全ての子どもが思える学校にしていくよう努めていきたいと思ひます。

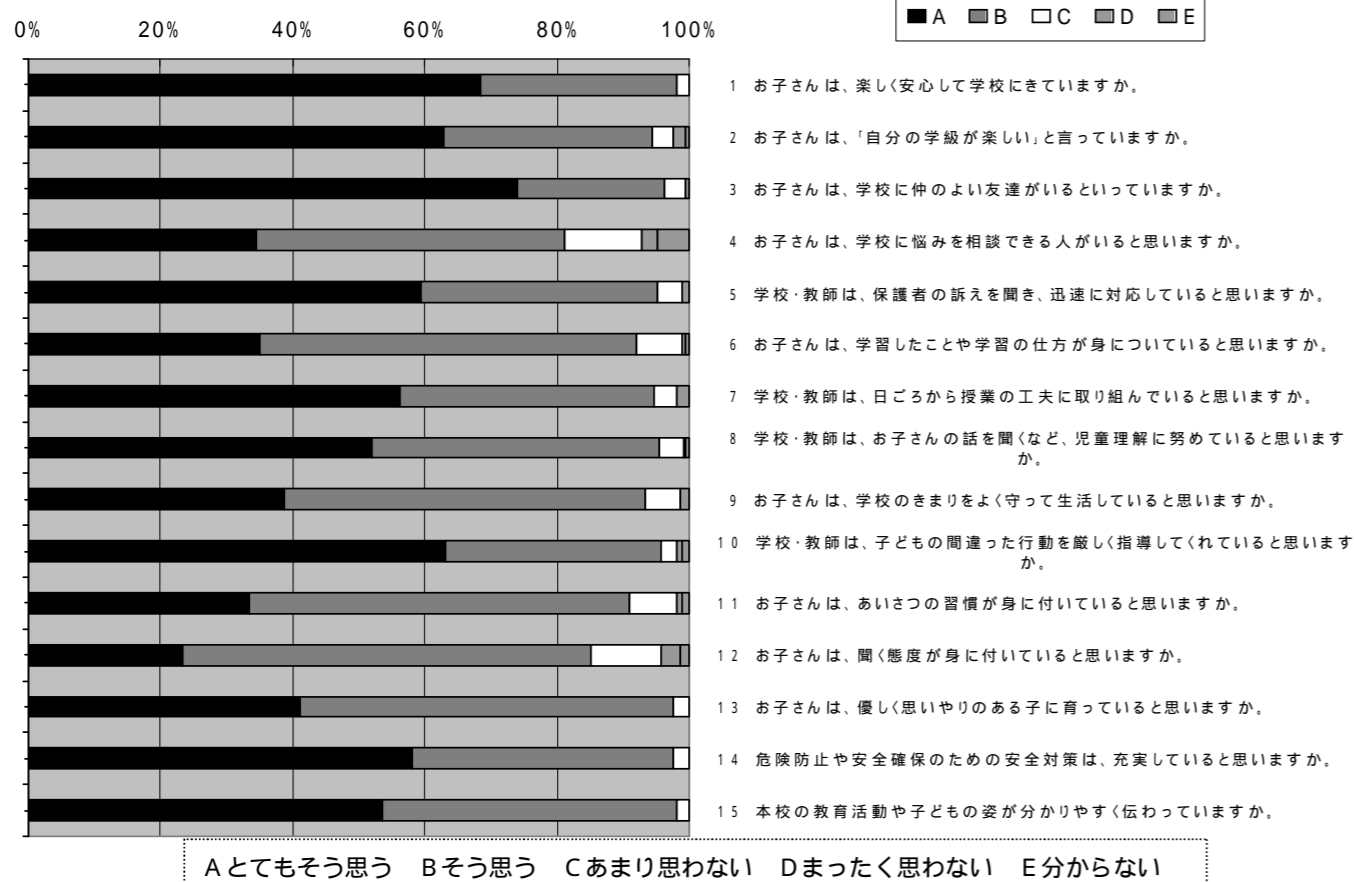
### 課題

問 6 「思ったことを発表したり、分からない事を質問したりできますか。」の質問は、苦手だと思っている子がどの学年も多かったです。今後も、みんなの前で発表する機会を増やしたり方法を学習したりして、話すことに慣れる指導を心がけます。また、聞くことが基本ですから、合わせてしっかり指導していきます。

問 8 「学校のきまりを守って生活していますか。」の質問は、1学期に比べて評価が下がりました。学校生活に慣れたことはいいことですが、気持ちのゆるみが出たようです。「みんな、やっている」「自分だけじゃない」と甘えるのではなく、しっかりとした規範意識をもつよう生活指導を徹底していきたいと思ひます。

問 11 「他の人に優しい気持ちで接していますか。」の質問は、心の成長には欠かせないものです。学級で、お互いのよさを認め合い大切にできるように、なかよし月間などの人権教育をより充実させていきます。

## 学校関係者評価結果(保護者 2学期)



### 【保護者結果考察】(12月中旬 質問紙によるアンケート調査)

**全体** 全ての質問にA B合わせて80%以上の評価を得ることができ、学校の取り組みについておおむね理解を得られたのではないと思ひます。特に問1「楽しい学校」問2「楽しい学級」問3「仲良しの友達」問10「教師の指導」の質問に関しては、高い評価をいただきました。

### 課題

問 4 「学校に悩みを相談できる人がいると思ひますか。」の質問は、1学期と変わらずあまり評価が高くありません。子どもが抱いた不安や不満を学校で解決できず、家庭で保護者の方に相談することがあるのだろうと推察されます。子どもの1番の相談相手は保護者の方だと思ひますが、学校では友達や教師が相談相手になるよう、さらに信頼関係を築いていきます。

問 6 「学習の仕方が身に付いていると思ひますか。」の質問は、Aが35%程度です。本校では、全校による学力調査の実施と分析、少人数指導やTT・講師、学生ボランティアの活用などの学習の工夫、夏季学習日や放課後のわくわく学びタイムなどで学習の基礎・基本の定着を図るよう努めています。今後、さらに個々の子どもたちに応じた適切な指導を工夫していきます。

問 11 「あいさつの習慣が身に付いていると思ひますか。」の質問は、子どもたちと保護者の方の受け止め方が違いました。登校時のあいさつ運動などを通して、子どもたちのあいさつの仕方は徐々に良くなっています。課題は、校内だけでなく地域の方にも広くあいさつをすることや、場や時に応じたあいさつの習慣がさらに身に付いていくといいと思ひます。保護者の方と協力し合って身に付けさせたいと思ひます。

問 12 「聞く態度が身に付いていると思ひますか。」の質問は、問4と同様に1学期と変わらずあまり評価が高くありません。「聞いていない」状態は、「別のことに気が向いている」「聞こえているが返事をしない」「内容が分からない」「最後まで聞かず、自分のことを話してしまう」などのことが考えられます。子どもの状態に応じた指導をすると共に、聞くことの重要性を子どもに納得させるようにしていきます。